

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。



## 動物用医薬品

2016年3月作成 第1版

止 瀉 薬

貯法

室温保存

承認指令書番号

26動薬第1660号

販 売 開 始

2016年3月

# 犬猫の下痢止め 動物用新テスミン<sup>®</sup>S

動物用新テスミン<sup>®</sup>S は、片面に十字割線のある黄色の素錠で、下痢における症状を改善し、腸の働きを正常に戻します。

### 〔成分・分量〕 1錠中

|            |       |
|------------|-------|
| タンニン酸ペルペリン | 30mg  |
| ショウキョウ末    | 7.5mg |
| 次硝酸ピスマス    | 150mg |

### 〔効 能〕

下痢における症状改善

### 〔用法・用量〕

1日1～3回経口投与します。

#### 1回の投与量

|   |             |     |   |            |      |
|---|-------------|-----|---|------------|------|
| 犬 | 5kg 未満      | 1 錠 | 猫 | 1kg未満      | 1/4錠 |
|   | 5kg以上20kg未満 | 2 錠 |   | 1kg以上3kg未満 | 1/2錠 |
|   | 20kg 以上     | 4 錠 |   | 3kg以上      | 1 錠  |

### 〔使用上の注意〕

(基本的事項)

#### 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・ 本剤は、定められた用法・用量を厳守してください。
- ・ 本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用してください。

(取扱い上の注意)

- ・ 本剤を分割投与する場合は、速やかに使用してください。
- ・ 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTP シートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用させてください。

(誤ってそのまま服用させたりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



★裏面につづく

- ・小児の手の届かないところに保管してください。
- ・直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しいところに保管してください。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないでください。
- ・使用の期限をすぎた製品は、使用しないでください。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分してください。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分してください。

## 2. 使用に際して気を付けること

(対象動物に関する注意)

- ・本剤を数日間服用させても効果があらわれない場合は、寄生虫が下痢の原因になっていることがありますので、獣医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けてください。

### ◎薬をのませるときのコツ

#### ●犬の場合には…

- ①左手で犬の上あごを持ち、その手の中指と親指を犬歯の後ろに入れ、やや上向きに頭を上げて犬の口を開きます。



用意した錠剤を右手の人さし指と中指ではさみ、なるべくすばやく舌の奥深くに置き去るように入れて、すぐ口を閉じて、ノドをさすります。

必要に応じてスプーン1杯の水を与えるのもよいでしょう。

- ②又は錠剤を適当な大きさにくだき、犬の好む肉などにはさむか、巻きこんで食べさせると簡単にのみこみます。

#### ●猫の場合には…

- ①顔を上に向けさせ、下あごを軽く引き口をあけます。頭をできるだけ後にひいて口をあけるとノドが真下に見えるので、薬を



ノドの奥へ落としこむか、指で奥へ押しこみます。薬を入れたらすばやく口を閉じ、鼻先に息を吹きかけるとのみこみます。必要に応じてスプーン1杯の水を与えるのもよいでしょう。

- ②又は錠剤を細かくくだき、ペースト状のキャットフードなどによく混ぜて食べさせると簡単に投与できますが、この際、キャットフードは残さない量に加減しましょう。

### 〔製品情報お問い合わせ先〕

佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口

〒107-0051 東京都港区元赤坂1丁目5番27号

電話 03-5412-7393

受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝日を除く)

製造販売元

佐藤製薬株式会社

東京都港区元赤坂1丁目5番27号

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記〔製品情報お問い合わせ先〕に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。